



#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	令和3年度の施設の運営にあたっては、まん延防止措置、緊急事態宣言をはじめとした新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対応が求められたが、事業の実施・中止、市・利用者双方の事情による貸館のキャンセル等に円滑に対応した。また、自主事業である自動販売機の設置についても、従来の設置場所にこだわらず、利便性の高い設置場所を模索する姿勢が認められ、これらを高く評価した。今後は、オンラインの講座や、リモートワークの勤労者を対象とした事業の実施を期待する。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
勤労者の福祉の向上を図るための事業の実施に関する業務	通年	以下のとおり	◎
	通年(1回/月) (新型コロナの影響により、8・9月は中止)	【土曜コンサート】 毎月1回土曜日に開催しているコンサート。出演者は、広報さがみはらやホームページなどで広く公募し、ジャンル、演奏レベル等を考慮して選考し、開催した。	/
	11月	【ジャズコンサート】 土曜コンサートの中でも特に人気のあるジャズコンサートを開催した。	/
	10月 (新型コロナの影響により、2月は中止)	【さん・え～る落語(落語公演会)】 ホールを利用した事業の一環として「さん・え～る落語」と銘打ち、「さがみはら若手落語家選手権」の優勝者に出演を依頼し、開催した。	/
	2月	【プラス1コンサート】 土曜コンサートの追加公演として、過去の応募団体の中から出演団体を選考し開催した。	/
	7月・3月 (新型コロナの影響により、8月は中止)	【親子映画観賞会】 夏休み及び春休み期間中、相模原市視聴覚ライブラリーから16ミリフィルムを借用し、子供向け映画を上映した。	/
	5月	【快眠術セミナー】 意外と知らない上手な眠り、下手な眠りについて学ぶ講座を開催した。	/
	6月	【太極拳教室】 ゆっくりとした動作や体重移動により、足腰の筋力を鍛え、バランス感覚を養うことを可能とする太極拳講座を開催した。	/
	6月	【壁紙DIY教室(初級編)】 オリジナル模型を使って、誰でも簡単に壁紙を貼ることができるコツを学ぶ講座を開催した。	/
	6月	【子育て世代でも今すぐ始められる！お金の運用セミナー】 NISAとiDeCoの違いや、それぞれのメリット・デメリットについて学ぶ講座を開催した。	/
	10月・11月	【短期労働講座】 神奈川県かながわ労働センターとの共催で二日間にわたり、「ハラスメントのない職場づくり」と「安心安全な職場づくり」についての講座を開催した。	/
	11月	【シニア世代のための働き方応援セミナー】 相模原市と共催の就労支援を目的とした事業。最新の求人動向や年金・社会保険の情報を提供するセミナーを開催した。	/
	11月	【初心者のための株式入門講座】 株式投資の基礎知識と小額から始められる投資術について学ぶ講座を開催した。	/
11月	【断捨離教室】 断捨離の意味やその効果を学び、物を持ち過ぎないシンプルな暮らしを目指す教室を開催した。	/	

勤労者の福祉の向上を図るための事業の実施に関する業務	12月	【クリスマスのミニスワッグ作り講座】 スワッグとは、ドライフラワーや葉を束ねて壁に掛ける飾り。クリスマスに合うミニスワッグを作成する講座を開催した。	
	12月	【美文字セミナー】 自分の名前を美しく書く方法を学ぶセミナーを開催した。	
	2月	【楽しい俳句入門】 世界で最も短い詩である俳句の入門講座を開催した。	
	2月 (新型コロナの影響により中止)	【サン・エールフェスタ】 サン・エールさがみはらを拠点として、文化・スポーツ・学習等の活動を行っている団体及びサークル等に日ごろの活動の発表の場を提供する機会として、また、市民の交流を促進することを目的に開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	
	3月	【ゼロから学ぶ年金制度セミナー】 日本の年金制度の仕組みを学び、老後生活に向けたライフプランを見直すことを目的としたセミナーを開催した。	
	3月	【勾玉づくり教室】 旧石器ハテナ館の協力を得て、古代の装飾品「勾玉」を自分で作る教室を開催した。	
	8月 (新型コロナの影響により中止)	【空は広いぞ、ゴム動力ヘリコプターを作って飛ばそう！！】 NASAの小型ヘリコプターと同じ構造の「ゴム動力ヘリコプター」を親子で作成する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため中止とした。	
	9月 (新型コロナの影響により中止)	【エンディングノートの書き方セミナー】 人生を前向きに生きるための「エンディングノート」の書き方を学ぶセミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため中止とした。	
利用の促進に係る業務	通年	【サン・エールさがみはら利用料金半額助成サービス】 利用率の向上を図るため、あじさいメイツと連携して、あじさいメイツ会員事業所に対して施設利用料金半額助成サービスを実施した。	◎
	通年	【あじさいメイツ指定公共施設割引券】 トレーニング室の利用率向上を図るため、あじさいメイツと連携して、利用料金助成サービスを実施した。	

### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自動販売機の設置	通年	施設利用者の利便性の向上と空スペースの有効利用及び収入確保を目的として、館内に合計5台の自動販売機を設置し、管理した。 なお、令和3年度は、館内全ての自動販売機について見直しを行い、3階への増設及び2階の設置場所の変更等、利用者サービスの向上と増収の両立を図った。	◎

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	達成度100%以上110%未満のためA評価となる。コロナ禍が続き、利用者が不便に感じることも多く、また、さまざまな利用者のニーズがある中で、昨年度に引き続き、非常に高い評価を得られている。今後は、利用団体の代表者だけでなく、観覧者や受講者などの声の把握にも一層取り組んでほしい。なお、令和3年度の目標値(95%)では利用者満足度に関わらずS評価になり得ないため、令和4年度は85%(満足度93.5%達成でS評価)としたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者アンケート(年4回の実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で3回の実施となった。) サンプル件数:123件
目標値の基準	「大変良い」「良い」の回答割合(職員の対応及び施設の満足度について)

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	80	80	80	80	95	85	
実績値（%）	86	87	84	97	97		
達成度（%）	107.5%	108.8%	105.0%	121.6%	102.1%	0.0%	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
利用者懇談会	3月 (新型コロナの影響により中止)	利用者満足度の向上を図ることを目的に、施設利用者の意見・要望等を聴取するため「利用者懇談会」を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により一定数の参加者を確保することができなかった。
利用者アンケート	6月・12月・3月 (9月は新型コロナの影響により中止)	施設利用者に対して、施設に対する要望及び意見を収集するためのアンケートを実施し、利用者満足度の向上を図った。
意見箱の設置	通年	施設利用者に対して、施設に対する要望及び意見を収集するための意見箱を設置し、利用者満足度の向上を図った。
事業実施後のアンケート	企画提案事業終了後	参加者に対して、事業終了後にアンケートを取り、魅力的な事業の企画提案に繋げた。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に比べ、指定管理料が減額された中でも利用料金収入が伸びたことにより、経常収入額が増加した。</li> <li>・団体は、コロナ禍の影響を受けつつも、資産規模により安定した経営が行われている。</li> <li>・施設全体収支は黒字で、かつ団体の財政状況に問題はないためS評価とする。</li> <li>・令和4年度以降、緊急雇用安定助成金、コロナ対策事業補助金など、コロナ関連収入がほとんどなくなることを予想される。このことに留意しつつ、利益還元に取り組むことを期待する。</li> </ul>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
収入 (a)	93,855	93,851	95,036	
指定管理料	60,298	61,249	57,561	
利用料金収入	28,191	11,370	21,848	
企画提案事業収入	890	53	143	
負担金収入	1,756	1,153	1,291	
その他収入 (自販機収入) ※	0	0	0	
雑収入	1	3	2	
コロナ関連協力金・補填金	0	17,401	13,098	
緊急雇用安定助成金	0	768	715	
管理運営事業基金 (積立金取崩収入)	2,600	0	0	
管理運営事業基金 (利益の還元Wi-Fi)	120	325	325	
管理運営事業基金 (利益の還元LED化改修)	0	1,529	0	
その他の収入	0	0	53	
支出 (b)	95,917	90,282	88,408	
人件費	27,663	28,863	30,462	
施設管理経費	67,199	59,530	57,413	
事業関連経費	965	35	208	
利益還元経費	91	1,854	325	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-2,062	3,569	6,628	
自主事業収入 (d)	1,049	420	707	
自主事業支出 (e)	162	154	182	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	887	266	525	
全体収支 【(c)+(f)】	-1,175	3,835	7,153	
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止策の影響で利用料収入は元年比で減収となったが、協力金等(昨年度分協力金含む)の交付及び光熱水費等の負担減により事業収支はプラスとなった。利益の還元については、新型コロナウイルスの終息が見込めず、先行き不透明な状況下であったため、今年度は実施を見送った。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和4年2月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年であったが、休止期間以外は、感染症拡大防止対策を行い、勤労者の福祉の向上に寄与する事業を積極的に展開した。また、利用促進については、Wi-Fi環境の安定的な提供によるリモートワークの推進を図った。

施設の維持管理については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る休止及び時短開設による利用者減等の影響を考慮し、縮小すべき維持管理項目の見直しを行うなど、適切な施設管理に努めた。休止期間中は、日常清掃では実施困難な箇所の清掃及び集中的な修繕等を行い、利用者サービスの向上を図った。

「土曜コンサート」は、会館オープン以来23年間継続して毎月1回実施しており、コロナ禍においても休止期間を除き、感染症拡大防止に配慮し、継続して開催した。来場者アンケートには、「コロナで疲弊した心が癒された」、「外に出にくい状況が続いていたが、思い切って来て良かった。元気をもらえた」、「無料で、素晴らしいコンサートを見られて有難い。ずっと継続して欲しい」などの声が多く寄せられたことから、長期間継続して開催してきた本事業が、相模原市民に広く認識され、市民にとっての憩いの場となっていることを実感した。

## 10 所管課意見

コロナ禍による休館や利用制限など、年間を通して利用者に不便を強いることが多い状況ではあったが、利用者アンケートの満足度は高く、自由意見等からも利用者に寄り添った施設運営が行われていると評価できる。

令和3年度は市による様々な改修工事を行ったため不便が生じたり、利用者等への対応による負担もあったと推察されるが、結果的に改修工事に起因する利用停止等の、市民の不利益を生じさせることなく、また感染拡大防止策を図り、様々な事業を実施できたと認識している。

新型コロナウイルス感染症の感染状況の緩急による休館や料金還付等の対応は、今後も生じるものと思われ、引き続き適切な管理運営に努められたい。

## 11 選考委員会意見

令和2年度に引き続きコロナ禍にあった中で、感染症防止対策を徹底し、クラスターを発生させることなく一定程度の利用を確保したこと等を踏まえると、全般的に評価に値する。

一方で、令和3年度の収益増には、コロナ関連協力金が大きく寄与していることもまた事実である。今後は、積極的な利益還元による施設の魅力向上や利用者の増加に繋がる取組に努めていくことを期待する。

また、コロナ禍に入り数年が経過しており、withコロナの時代の勤労者支援の事業を展開していくべきである。サテライトオフィスやテレワーク環境の提供、在宅勤務に関する機器展示や相談会など、様々な事業が考えられる。心の病対策講座なども必要であろう。

